

教員の養成の目標及び当該目標を達成するための計画に関すること

本学の教員養成は、「私立大学における教員養成」と「開放制の教員養成」の原則により、これまで特色のある質の高い教員養成を行ってきた。

教育分野では、中学校・高等学校の主要 5 教科、美術・工芸・工業・商業・情報の免許状取得者に加え、幼稚園、特別支援学校（知・肢・病）の免許状取得者を輩出している。幼児教育から高等教育まで幅広い人材の育成に取り組んでおり、多数の卒業生が九州を中心とした学校現場において活躍し、社会的役割を果たしている。

また、令和 3 年 3 月 12 日に開催された中央教育審議会総会において『令和の日本型学校教育』を担う教師の養成・採用・研修等の在り方について」の諮問が行われ、『『新たな教師の学びの姿』の実現と、多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成～（答申）』が取りまとめられた。そのため、教師の養成を担う本学としては、令和の日本型学校教育を具現化すべく、以下の目的に重点を置きながら、全学的な協力・指導體制をもって取り組み、わが国の次世代の担い手に対して相応しい人材養成を目指している。

・教育者にふさわしい人間性の育成

多様な学修に基づく専門的職業人としての知識・技能を教育現場において活かすためには、教員としての基本的資質、すなわち人と深く関わることのできるコミュニケーション能力や協調性及び教育者としての使命感を備えていることが前提となる。

本学では、平成 26 年度から教養を身につけグローバル社会で活躍できる心身共に健全な人間教育の実現のために導入した「KSU 基盤教育」において、基本的資質に裏づけられた教育者を育てており、令和 4 年度には、芸術学部を有する本学の特色を活かした「文理芸融合科目」群を設け、より一層幅広い資質を持った人材の育成に取り組んでいる。

・教員に求められる専門性、実践的指導力の養成

今日のように多様な個性を持つ幼児児童生徒を対象に教員としての職責を全うするためには、様々な課題を持つ子どもと向き合い具体的かつ効果的な指導や援助ができなければならない。そのため本学では、各学科の専門分野に関する総合的な知識・技能と学科間の連携による他分野の幅広い知識・技能の修得を可能にするカリキュラムを整備するとともに、各種ボランティア活動等の実践的な教育活動への参加を通じて専門性と実践的指導力を持つ教員を養成する。

・自らの資質を向上し続け、正解の見えない問題を解く力と自己教育力の獲得

変化の激しい現代社会にあっては、教育者としての知識及び技能を生涯にわたって高めていくことが求められる。本学では主体的・対話的で深い学びを重視し、アクティブ・ラーニング又は PBL 教育を展開する「KSU プロジェクト型教育」において、学生の「正解のない問題を解く力」を育成する。さらに、同教育において「実践力」、「共創力」、「統率力」を身につけることにより、学生の自立的志向を高め、自らの資質を向上し続けるための不断の努力を可能にする自己教育力を養成する。